

# 柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1984. 4. 1 SPRING

VOL. ①



## 発刊にあたって

柳泉園組合は、構成四市（田無市、保谷市、東久留米市、清瀬市）の清掃行政の一環として昭和35年9月に設立された特別地方公共団体です。そして当組合の主な仕事は、四市の家庭より毎日排出されるごみやし尿を処理し、市民の皆様のくらしに貢献することです。

近年、生活様式の向上により、ごみの内容その処理対応も複雑化し、さらにオイルショックを契機に省資源、資源の再生が社会的テーマとなりました。

当組合も、廃棄物を再利用するため、コンポスト施設を導入し、し尿を有効肥料として農地へ還元しています。また現在建設中のごみ処理施設が完成すると（昭和61年完成）ごみを燃焼させる熱エネルギーを利用し、柳泉園内の施設の電力をほとんど補うことができるようになります。

今後は、環境保全の点についても、もっと厳しい規制

が設けられることが予想され、当組合もこのような時代の要請に応じていかなければなりません。

そのためには市民の皆様のご理解とご協力が必要です。というのも、ごみの選別問題ひとつをとってみても回収する時点で分別されていないと機械の劣化及び故障、あるいは二次公害を招く原因となるからです。

やはり、市民の皆様と当組合が共に快適な街づくりを目指しながら、新たな時代の要請に応じていかなければならないと考えております。

今回の柳泉園ニュースの創刊より、当組合の現状、懸案事項、展望などをこれからもお知らせする所存です。今後とも、より一層のご理解、ご協力をお願いいたします。昭和59年4月

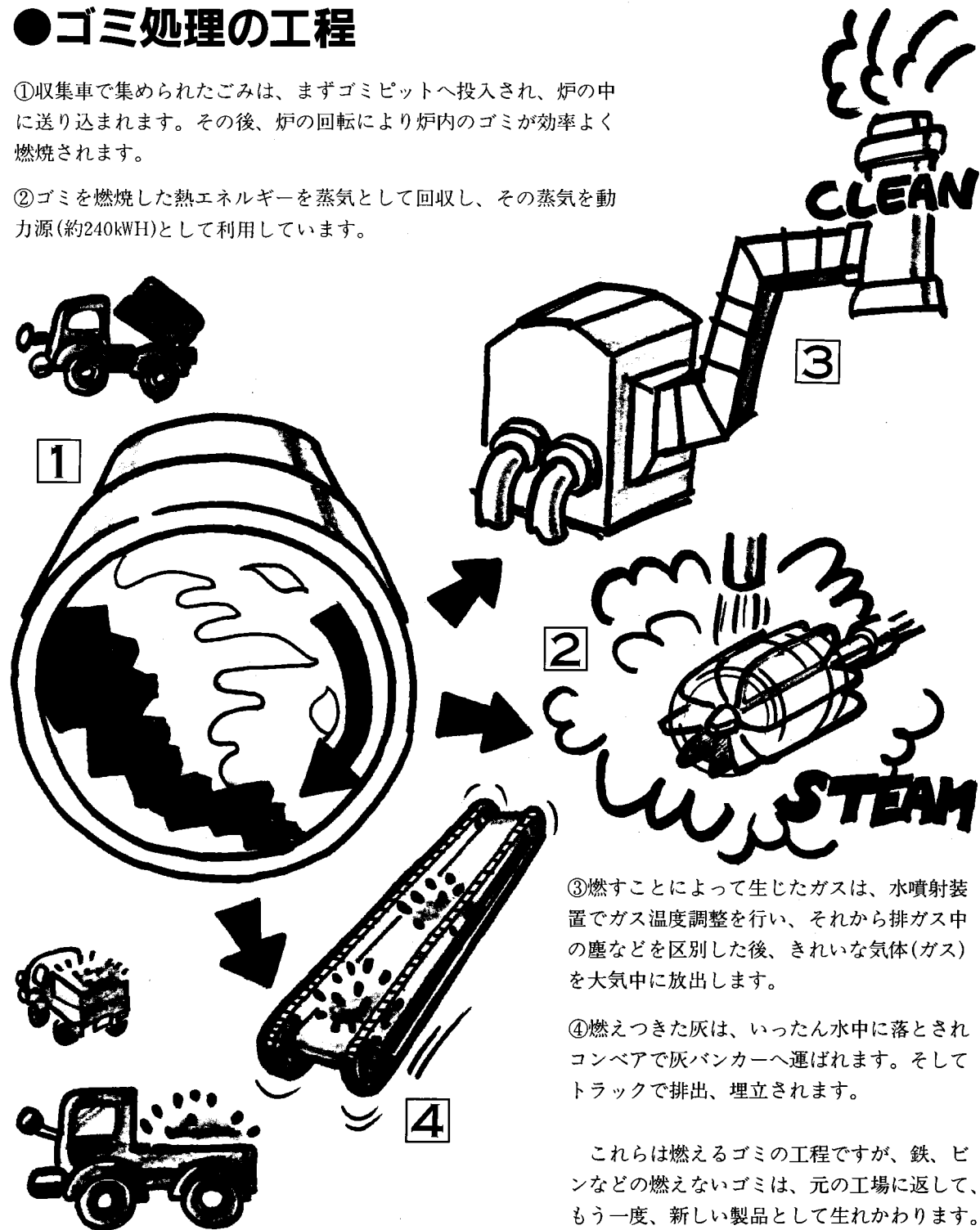
柳泉園組合管理者 都丸哲也

# 気になりませんか、ゴミの行方!

## ●ゴミ処理の工程

①収集車で集められたごみは、まずゴミピットへ投入され、炉の中に送り込まれます。その後、炉の回転により炉内のゴミが効率よく燃焼されます。

②ゴミを燃焼した熱エネルギーを蒸気として回収し、その蒸気を動力源(約240KWH)として利用しています。



③燃すことによって生じたガスは、水噴射装置でガス温度調整を行い、それから排ガス中の塵などを区別した後、きれいな気体(ガス)を大気中に放出します。

④燃えつきた灰は、いったん水中に落とされコンベアで灰バンカーへ運ばれます。そしてトラックで排出、埋立されます。

これらは燃えるゴミの工程ですが、鉄、ビンなどの燃えないゴミは、元の工場に返して、もう一度、新しい製品として生れかわります。

## ●し尿処理の工程

①バキュームカーで収集、運搬されたし尿は、投入施設へ投入され、土砂や金属類とし尿とに分けられ、し尿は貯溜槽へ送られます。貯溜されたし尿は、一次処理施設へ送られ、さらに固形物と液体とに分離します。

②分離された液体は曝気槽へ送られ空気酸化されます。

③一次処理施設で処理された液体は、活性汚泥槽に送られ、空気曝気されながら好気性微生物の働きによって浄化されます。

④活性汚泥槽で処理された液体は最終沈澱槽に送られろ過された液体は河川へ。ここで沈澱した固形物は、ポンプで余剰汚泥施設へ送られます。



⑤固形物は脱水機にかけ、水分70%以下まで脱水します。

⑥し尿から発生する悪臭は、全て1ヶ所に集められ、脱臭装置で分解され大気へ放出されます。

⑦脱水した固形物は、コンポスト施設へ送られます。ここで11日間、発酵させ、有効肥料として農地へ還元します。

# そこが知りたい! 柳泉園インフォメーション

Q：“柳泉園”という名前は、どうしてつけたんですか？

A：現在の柳泉園が建っている地域は、昔、柳窪という地名だったんです。また、このあたりには、きれいな泉がたくさん湧いていたそうです。それで柳泉園という名前にしたのです。

Q：柳泉園には、どんな施設がありますか？

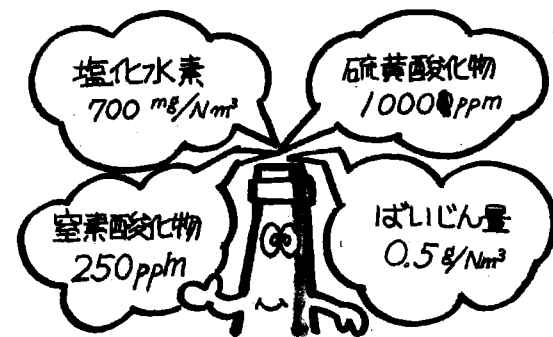
A：柳泉園では、焼却施設が2つ、危険物処理施設が1つ、し尿処理施設が3つあります。

また、レクリエーション施設として、プール、野球場、テニスコートがあります。

Q：ごみ処理の際の公害防止は、どのような方法で行なっているのですか？

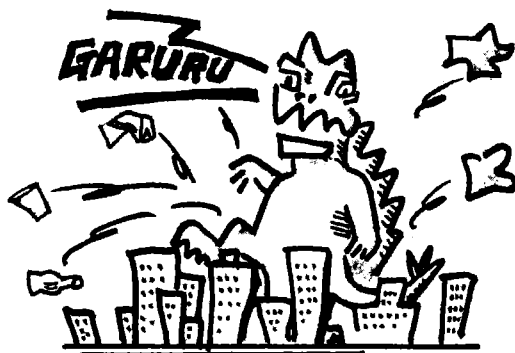
A：まず、ごみを燃すことにより、ばいじんや硫黄酸化物等々の汚染物質が大気中に放出されます。これらは、それぞれ法律により規制基準が決められています。(表I・表II)

## ■東京都公害防止条例の排出基準 <表I>



低公害化を図るためには、より高度な設備を設けて大気へ排出する気体の濃度を極力低くおさえるハードな方法と、ごみの減量化により燃すごみの量を減らし低公害化を図るソフトな方法が考えられます。

しかし、ハードな方法の場合、国の施策の中でも環境保全関係は厳しい内容であり、より厳しい公害防止対策を行うには財源的にも限界があり、エネルギー面でも無駄使いをすることになるのです。



## ■ばい煙測定結果 <表II>

分析項目	規制値	分析値
排ガス量		80,600Nm <sup>3</sup> /H
排ガス温度		239℃
ばいじん量	0.2g/Nm <sup>3</sup>	0.092
硫黄酸化物	76ppm	28.9
窒素酸化物		79
塩化水素	700mg/Nm <sup>3</sup>	477

Q：エネルギーの無駄使いとは、具体的にどんなことですか？

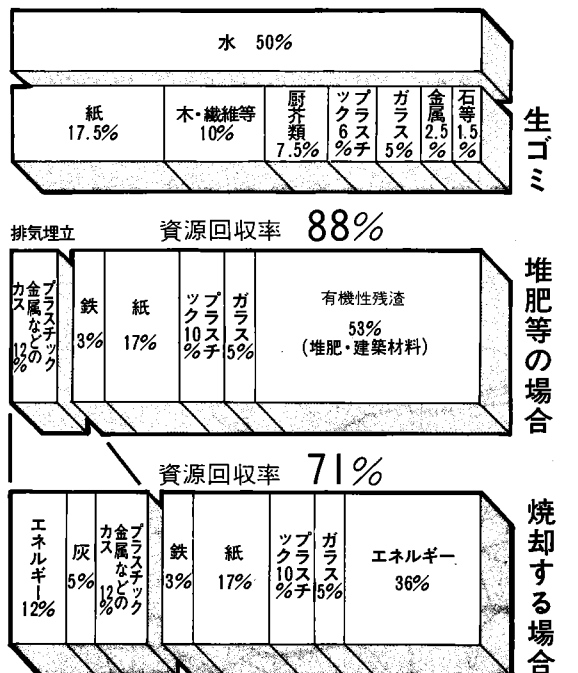
A：今の社会は、石油が資源のあらゆる物質が大量に消費されています。ポリ容器やプラスチック製品などの普及により便利になった反面、これらが大量の廃棄物となり、その上焼却することにより、塩化水素が多量に発生します。そこでごみの中からプラスチック類だけを取り除くことができればいいのですが、これは現在の技術でも不可能で、結局、他のごみと一緒に焼却してから発生した塩化水素を捕集しています。が、その時に薬剤や電気、熱エネルギーが必要となり、経費がかさむと同時に多量のエネルギーが消費されてしまうのです。

ですから、ごみの減量化、分別問題により低公害化、資源節約が少しでも可能となるので、市民の皆様のご協力がぜひとも必要なのです。

これらの現状をふまえ、しゃにむにハードな方法の改善だけを目指すのではなく、省エネルギーでしかも従来の方法に勝るとも劣らぬ方法を思考していくことが今後の課題であると思います。

Q：廃棄物も資源として再利用できるようになってきました(表III)が、有限な資源が、“使い捨て”の風潮の中でどんどん供給されている時代です。四市の問題にとどまらず、資源の需要と供給のバランスがどうなってしまうか不安ですが…。

## ■資源回収率 <表III>



A：資源の中でも、利用価値の広い木材を例にあげてみましょう。“2000年の地球”という合衆国の報告書によると、1975年に25.63億ヘクタールであった密林が、2000年には21.17億ヘクタールに減少すると予想しています。そうなるとう地球は急速に砂漠化し、大気中の炭酸ガス濃度が増加し、気候変化によ



るインパクトも予想されています。ちなみに日本の木材輸入量は世界第1位です。また4市から排出するごみの約40%は紙であります。このことからみても有限である資源は大切に有効に利用しなければならないことがわかります。廃棄物の再資源化は少しずつ実現はしていますが、まだまだ経済性などの問題で急進展していないのが実状です。市民の暮らしとは直接、関係のないような大きな問題も、実は、大いに関わっていることが少しでもおわかりいただけたと思います。ですから今後は、ごみの減量化や公害対策等についても、市民の皆様のご協力と身近な努力がひとつのキーポイントとなってくるのではないのでしょうか？

### 三二解説

○酸性雨○

昭和49年、関東地方に強酸性の雨が降り目や喉が痛いと訴えた人が500人以上にもものぼった。原因は大気汚染物質の硫酸酸化物や窒素酸化物が雨に溶けるためである。梅雨期や秋雨期の霧雨の時に被害がおきやすい。50年には関東地方で酸性雨注意報が発令された。

# enjoy sports

エンジョイスポーツ

アウト・ドアLIFEがさかんな今日、この頃。こんな近くに、のびのびプレイできる施設があったこと、ご存じでしたか？

電話一本で四市の方ならどなたでも気軽にご利用いただけます。



☎0424-73-3121 へ申し込んで下さい

- 野球場 期間…4月1日～11月30日  
料金…1000円／2H
- プール 期間…7月初旬～9月初旬  
料金…大人100円、学生60円、子供50円／2H
- テニス 期間…4月1日～11月30日(冬季中も可能)  
料金…500円／2H

## Message

### 組合からのお願い

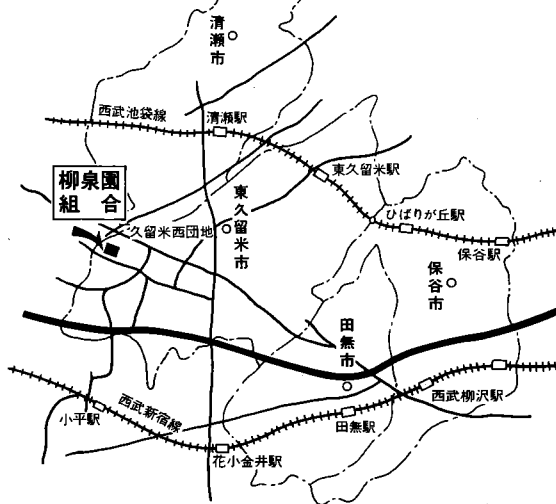
柳泉園組合から、皆さまにお願いがあります。

1.ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1ト処理するのに約10,000円かかります。それに収集、運搬費を加えると1ト処理にあたり約24,000円になります。ごみが少なくなるとこの費用が他の行政費用に回すことができます。

2.ごみを出す時は「燃えるごみ」「燃えないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないとごみ焼却炉を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にもまた費用がかかります。

また、構成四市では有害ごみの回収も分別収集あるいは電気店等の拠点収集方法で市民の皆様をお願いしています。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



次回には、組合の予算、処理量等についてお知らせしたいと思います。